
二人のカンケイ（後編）

なかゆんきなこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

二人のカンケイ（後編）

【Nコード】

N5533U

【作者名】

なかゆんきなこ

【あらすじ】

怒って行ってしまった神楽を追いかける沖田。
無事に仲直り（？）できるのか。

沖田×神楽のお話です。

こちらは友人達と合同でやっていた銀魂テキストサイト、『夜光魂』で掲載していた作品を転載したものです。

「なんだっただ？ あいつ」

生理か？ と首を傾げる沖田に、土方が馬鹿野郎…と苦言。

「あれはグロスつつつて口紅の一種だ。可哀想に、リボンまでつけてめかし込んでたのにお前えのせいで台無しじゃねーか」

「グロス…？」

「そーだよ。それをお前え、油だあ？ 化け猫じゃあるめーし娘っ子が油なんか舐めるわけねーだろボケ」

きょとんとする沖田に、土方がまくしたてる。

「…てこたあ、めかし込んでたんですかい？ アイツ」

「そーだよ鈍いなこの野郎。そーいう時は褒めてやるもんだぞ」
可愛いつて思っただろーがと、土方が意地悪く笑う。

沖田は無言のまま、スタスタと神楽が走り去った方へと歩き出した。

「たまには素直になんねーと、嫌われちまうぞ」

「マヨが原因で姐さん方にフラれるマヨ男に言われたくねエや」

「んなっ」

じゃーなマヨ男、と沖田はひらひらと手を振って去っていった。
残された土方はやれやれと不器用な後輩の後ろ姿を見送ったが、
数分後残りの仕事を押し付けられたことに気づき、あっ！ っと叫んだのであった。

人気の無い河川敷。

神楽は涙をこらえながら、ごしごしと袖口で唇をぬぐった。

志村邸を出たばかりの頃は、可愛いくなったのだと、ちよっとだ

け誇らしい気持ちでいられたのに、今は恥ずかしさとちょっぴりの悲しさで胸がいつぱいだ。

「バカ沖田……」

「誰がバカでイ」

「!？」

ざざつと器用に土手を滑りながら、沖田が神楽の隣に降り立つ。

その手には、袋に入った棒アイスが二つ。

ほらよ、と沖田はその一つを神楽に渡した。

「……」

無言でそれを受け取り、何か細工がされていないかを確認してから慎重に袋を開ける神楽。

そんな彼女を尻目に沖田もバリつと袋を開ける。中から出てきたのは、ミルク味のアイスクリーム。

「「……………」」

二人はしばらく、無言でアイスを頬張った。

「油……」

ふいに、ぽつりと沖田が呟く。

「…別に、悪くなかったぜイ」

それは、彼なりの、

精一杯の、褒め言葉。

「…あ、油じゃないアル。グロスってゆーネ」

「るせーな油と変わンねエーだろーが」

「全然違うネ！ 油はギトギトでグロスはツヤツヤ!！」

「ギトギトもツヤツヤも見た目変わらねーって」

「違うアル！ シャーベットとアイスくらい違うネ!！」

「…あんま変わんなくね？ それ」

「両者は別物アル!」

ふん！ と鼻息荒くまくしたてる神楽の横顔から、なんとなく目が離せないのは…、

いつも纏めている桃色の髪が、今は彼女の頬の横で揺れているか

ら。

まるで見知らぬ女の子のようで、落ち着かない。

（チャイナのくせに…）

そんな彼女に、ちよつとでも動揺する自分がいて、

「とゆーわけでシャーベットも奢れサド丸」

「はあ？ 調子こいてんじゃねーぞチャイナ」

「とーぜんの慰謝料アル。シャーベット五つで許してやる心の広さに感謝しろやア」

「五つだあ？ 図々しいにも程があらア」

「サド野郎！！」

「チャイナ小娘！！」

結局、二人はいつものように取っ組み合いの大喧嘩。でも、

今の二人の、一番しっくりくるカンケイ。

（後書き）

銀神も好きですが沖神も好きです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5533u/>

二人のカンケイ（後編）

2011年9月1日04時59分発行